

お知らせ

記者発表資料 配 付 日

令和4年5月27日

■資料提供先:鳥取県政記者会、鳥取市政記者クラブ

「千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】(変更)(原案)」 の公表及び意見募集について ~地域の皆様の声をお寄せください~

国土交通省中国地方整備局では、千代川水系の大臣管理区間を対象に、河川整備や河川管理の目標、具体的な実施内容をとりまとめた「千代川水系河川整備計画」を平成19年に策定し、これに基づき河川整備や河川管理を行っています。

この度、近年全国で発生している豪雨災害や気候変動等を踏まえ、「千代川水系河川整備計画 【大臣管理区間】(変更)(原案)」を公表し、河川法第16条の2に基づき地域の皆さまのご意見 を反映するため、下記のとおり変更原案の閲覧を行い、ご意見を募集します。

記

【変更原案閲覧·意見募集期間】

令和4年5月27日(金) ~令和4年6月27日(月)

【変更原案閲覧場所】

令和4年5月27日(金)~令和4年6月27日(月)

- (1) 国土交通省鳥取河川国道事務所ほか関係機関(右表のとおり)
- ② 国土交通省鳥取河川国道事務所ウェブサイトへ掲載 https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/ seibi/index file/index.html

【意見募集内容】

千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】(変更)(原案)に関すること 【意見提出方法】

① 意見募集はがき ②ファックス ③電子メール 令和 4 年 6 月 30 日(木)必着

詳細は別添「意見募集チラシ」を参照ください。

国土交通省	中国地方整備局 情報公開室
	鳥取河川国道事務所
	鳥取河川国道事務所千代水出張所
	鳥取河川国道事務所河原出張所
	鳥取河川国道事務所殿ダム管理支所
鳥取県	鳥取県庁本庁舎1階 県民室
	鳥取県東部庁舎1階 県民ホール
	鳥取県八頭庁舎 別館1階 県民コーナー
鳥取市	本庁1階 ハートフルコーナー
	国府町総合支所 産業建設課
	河原町総合支所 産業建設課
	用瀬町総合支所 産業建設

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

副所長(河川) 村上 友章 【担当】工務第一課長 景山 繁

TEL 0857-22-8435 (代表)

※本資料は、鳥取河川国道事務所ホームページの「記者発表」ページでも公開しています。 鳥取河川国道事務所 HP アドレス http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/

千代川水系 河川整備計画

Sendai River Improvement Project

将来の千代川のかわづくりに あなたの声を届けよう

河川整備計画とは、おおむね20年で段階的に実施する河川整備の 目標、河川工事、維持管理等の内容を定める河川法に基づく計画です

【大臣管理区間】(変更原案)へのご意見の提出について

国土交通省中国地方整備局では、今後の気候変動による影響等を踏まえ、「千代川水系河川整備計画【大臣 管理区間】(変更原案)」(以下、「変更原案」とする)を作成しました。

地域の皆様に「変更原案」の内容をご覧いただくため、令和4年5月27日(金)~6月27日(月)まで、国土 交通省鳥取河川国道事務所、鳥取県庁、鳥取市役所等で閲覧できます。また、鳥取河川国道事務所のウェブ サイトにも掲載しています。

「変更原案」に対するご意見は、ご意見募集ハガキ、電子メール、ファックスで提出可能です。

平成30年7月豪雨での浸水状況(千代川)



国道53号に迫る勢いの千代川 (鳥取市用瀬町用瀬)



平成30年7月7日豪雨(梅雨前線) 增水状況(用瀬町中橋付近)



平成30年7月7日豪雨(梅雨前線) 增水状況(河原町河原橋付近)



堤内地冠水(鳥取市下味野)

閲覧場所

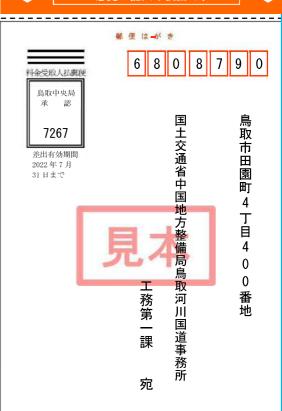
「変更原案」は以下の場所で閲覧することができます。

国土交通省	中国地方整備局 情報公開室
	鳥取河川国道事務所
	鳥取河川国道事務所千代水出張所
	鳥取河川国道事務所河原出張所
	鳥取河川国道事務所殿ダム管理支所
鳥取県	鳥取県庁本庁舎1階 県民室
	鳥取県東部庁舎1階 県民ホール
	鳥取県八頭庁舎 別館1階 県民コーナー
鳥取市	本庁1階 ハートフルコーナー
	国府町総合支所 産業建設課
	河原町総合支所 産業建設課
	用瀬町総合支所 産業建設課

ご意見募集期間

令和4年6月30日(木)必着

意見募集ハガキ 意見の記入は裏面です



իրկիլիսկիկովիլուրերերերերերերերերերերերել

千代川水系河川整備計画(変更原案)の内容

千代川水系河川整備計画の基本理念

●人々が笑顔で安全に 暮らせる川づくり



●暮らしの営みを支える



●潤いと安らぎに満ちた 千代川の実現





● "ふるさと" を実感できる千代川の次代への継承





●地域のつながりを深め、共に考える河川整備の推進





倉田スポーツ広場のサッカー大会

千代川流域の災害

近年の洪水被害として、平成29年9月洪水や平成30年7月洪水におい て、浸水被害が発生しており、平成30年7月洪水では、袋河原水位

観測所ほか3観測所で避 難判断水位を超過、ま た、支川の清水川沿川の 吉成南町や下味野地区 で冠水被害が発生して います。







鳥取市下味野

今回の変更の目的

平成30年7月豪雨をはじ め、全国的には令和元年東日本 台風など、気候変動の影響によ る近年頻発化・激甚化する降雨 状況を鑑み、千代川水系におけ る今後の治水対策の方向性と して、千代川水系河川整備計画 を変更します。

ご意見募集ハガキ

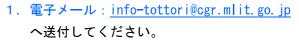
下のハガキにご意見をご記入ください



千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】(変更原案)全般に対する ご意見があれば記入してください。 令和4年6月30日(木)≪必着≫でご応募ください。

ご意見の提出方法

●ご意見の提出は、左のハガキ、電子メールまたは ファックスでお願いします。



2. ファックス: FAX 番号 0857-29-1859 鳥取河川国道事務所 工務第一課 宛 鳥取河川国道事務所ウェブサイト: http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/





- ●ご意見を提出される場合は、以下の必要事項をご記入ください。
 - ①氏名(企業・団体の場合は、企業・団体名、代表者名並びに 担当部署名及び担当者名)
 - ②年齢(企業・団体の場合は不要)
 - ③性別(企業・団体の場合は不要)
 - ④住所(番地は不要)
 - ⑤意見 該当箇所(頁・行)及び意見内容

注意事項

※ご記入いただいたご意見は、千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】(変更)策定の ために活用させていただきます。

なお、個人情報は事務局で適切に管理し、情報漏洩、紛失の防止に努めます。

お問合せ先・意見送付先

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 工務第一課 千代川水系河川整備計画担当

〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地 電話: 0857-22-8435 FAX: 0857-29-1859 E-メール: info-tottori@cgr.mlit.go.jp



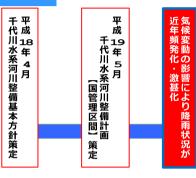
千代川水系河川整備計画(変更原案)の概要

千代川水系河川整備計画を変更します

千代川水系では平成18年4月に長期的な視点に立った河川整備の基本的な方針を定める「千代川水系河 川整備基本方針」を策定しています。これに基づき、千代川水系の国が管理する区間において、段階的な 河川整備を行うための計画として「千代川水系河川整備計画【国管理区間】」(以下、「現行河川整備計 画」)を平成19年5月に策定しました。

その後、平成30年7月豪雨をはじめ、全国的には令和元年東日本台風(台風19号)等、気候変動の影響 による近年頻発化・激甚化する降雨状況を鑑み、千代川水系における今後の治水対策の方向性を示す千代 川水系河川整備計画を変更します。

変更の経緯







基本理念

- ・人々が笑顔で安全に暮らせる川づくり
- ・暮らしの営みを支える川づくり
- ・潤いと安らぎに満ちた千代川の実現
- ・ "ふるさと"を実感できる千代川の次代への継承
- ・地域のつながりを深め、共に考える河川整備の推進

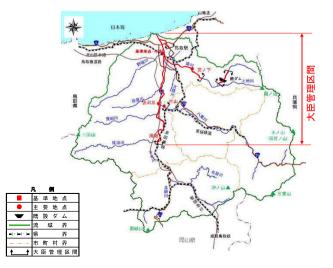
対象区間

本整備計画において対象とする区間は、 右図のとおり、「大臣管理区間」です。

対象期間

今後概ね20年間

(なお、本整備計画は現時点の社会経済 状況、河道状況等を前提として策定した ものであり、必要に応じて適宜計画の見 直しを行うものです。)



河川整備計画の目標・整備の実施

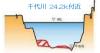
千代川の整備や管理を行うための ■目標 と ●実施内容 について、概要をご紹介します。

洪水等

■人々が笑顔で安全に暮らせる川づくり

・千代川の歴史は人と洪水の闘いの歴史であり、過去の洪水では 多くの貴重な生命、財産が失われてきました。このため、人々 がいつまでも安心して暮らせるための川づくりを進めます。





- ●河道掘削(港町・浜坂) (稲常) (八日市・釜口) (釜口) (和奈見・鷹狩) (美成・鷹狩) (別府)
- ●河道掘削・堰改築(商栄・秋里)(古海・古市)(佐貫・高福)(和奈見・鷹狩) ●築堤(湯所)
- ・堤防の浸透対策・防災活動拠点の整備 既存ダムの洪水調節機能の強化(事前放流)

■暮らしの営みを支える川づくり

・比較的水には恵まれた千代川ですが、地域の水のほぼ全てが千代川により賄わ れているため、雨の少ない年には都市部を中心に渇水被害が発生しています。 このため、普段から安心して生活できるように流水の安全供給に努めます。



●殿ダムの適切な運用

河川環境・水質

■潤いと安らぎに満ちた千代川の実現

・千代川が育んできた良好な自然環境を保全するとともに、清らかな流れを次代に 引き継ぐ川づくりを目指します。

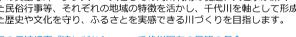


- ●水質改善に向けた底泥除去等 ●アユ等の回遊魚等の移動の連続性を確保
- ●動植物の牛息・牛育・繁殖環境の保全 ●瀬・淵・ワンド・水際等の保全・創出

(

■"ふるさと"を実感できる千代川の次代への継承

・都市域の中の貴重なオープンスペースとしての河川利用の促進、人と水が深く 係りあった民俗行事等、それぞれの地域の特徴を活かし、千代川を軸として形成 されてきた歴史や文化を守り、ふるさとを実感できる川づくりを目指します。





●用瀬地区の伝統行事『流しびな』

千代川固有の景観の保全

地域連携

■地域のつながりを深め、共に考える河川整備の推進

・水辺の魅力を最大限に引き出し、住民参加と地域連携等地元主体となる川づくり を支援し、地域の活性化に寄与でき、より多くの人が川に向き、より親しめる川 づくりを目指します。また、流域全体で水害を軽減させる為、あらゆる関係者が 協働し、河川整備をはじめとする治水対策を推進します。



●流域治水プロジェクトの推進

維持管理

- ・安全・安心な暮らしが持続可能となるように、効率的かつ効果的な維持管理を 関係機関や住民のみなさまとの連携を強化しながら、適正に実施します。
- ●河川の状況把握のための調査 ●河川管理施設の維持管理
- 河道の維持管理
- ●危機管理体制の強化



※ 地域の歴史や文化への配慮が必要とされる区域は、事業の進め方について、関係機関等と協議を行います。



千代川水系河川整備計画(変更原案)の概要

整備計画の変更のポイント

被害の防止・軽減に向けた治水対策の推進 (気候変動を見据えた治水・河川における対策)

平成30年7月豪雨では、千代川におい て甚大な被害が発生しませんでしたが、 沿川の内水による浸水被害が発生して いることから、流域平均降雨量として 既往最大を記録するなど、洪水リスク は高まっている状況にあることから、 洪水による浸水被害を防止・軽減する ため、千代川の水位の低減が必要です。

⇒河川整備基本方針に即した段階的な 整備として、気候変動により安全度 が低下しても現行整備計画の安全度 以上の治水安全度を確保する目標 を新たに設定します。

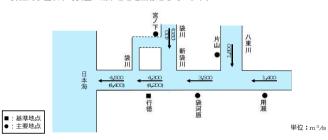
平成:0年7月豪雨での被害状況





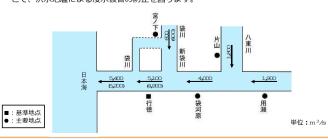
治水に関する目標

- 河川整備計画目標流量(現行) ◆ 対象期間: 概ね20年
- ◆ 洪水による災害発生の防止および軽減に関しては、『人々が笑顔で安全に暮らせる川づく り』を目指すため、戦後最大洪水である昭和54年10月洪水と同規模の洪水が発生しても 計画高水位以下で安全に流すことを目標としています。



河川整備計画目標流量(変更案)

- ◆ 対象期間: 概ね20年
- ◆ 本計画において目指す治水安全度の水準は、現行整備計画の目標である昭和54年10月洪 水の降雨量が1.1倍程度に増大した場合でも、洪水氾濫による浸水被害の防止が図られる よう、基準地点行徳において5,100m3/s(年超過確率1/50規模)を目標流量とします。 このうち、河道に配分する流量は4,900m³/sとし、既設の殿ダムで200m³/調節するこ とで、洪水氾濫による浸水被害の防止を図ります。



気候変動を見据えた事前防災対策の加速化 (河川整備の加速化、減災対策)

平成30年7月豪雨をはじめ、全国的には令和元年東日本台 風(台風19号)等、気候変動の影響による近年頻発化・激 甚化する降雨状況を鑑み、千代川水系における今後の治水 対策(事前防災)が必要です。

- ⇒ 気候変動による水害リスクが顕在化する中でも、目標と する治水安全度を確保するため、河川整備の速度を加速 化させます。 ⇒①で対応
- ⇒より効率的なダムの有効活用方策等を検討します。
- ⇒ 今後の外力増大にも対応した治水対策として、整備計画 目標を上回る洪水への減災対策を推進します。

⇒③で対応

減災に向けたさらなる取り組みの推進 (ソフト対策)

近年の洪水による教訓や水防災意識社会再構築ビジョンの取り組み等 を踏まえ、関係機関との連携による減災のためのソフト対策のさらな る連携を強化していきます。

⇒千代川の特性を踏まえたきめこまやかな情報提供や 防災教育、 減災対策を推進します。









● 河道掘削、河積阻害となって いる堰の改築を行い、整備目 標流量を安全に流下させます。











します。

● 堤防の浸透対策が必要な箇所で、整備を実施



